

平成30年度 桐生市立神明小学校 学校経営のグランドデザイン

<群馬県の基本目標>
たくましく生きる力をはぐくむ
～自ら学び、自ら考える力を～

<桐生市教育行政方針>
基礎学力の定着を図るとともに、それを
基にした「生きる力」の育成

【本校の教育課題】
○既習事項を基にした、活用・応用・探求する力の育成
○自分で考え、判断し、主体的に行動する力の育成
○基本的な生活習慣の定着と基礎体力の向上

【校長の基本的な考え】
○児童にとって、学校はたのしい場所であるべき
○教師は授業で子供を変える
○全教職員が協働一致で指導に当たれば学校は変わる
○学校は地域の財産

学校教育目標（具体目標）
<目指す児童像>
「知」考える子
「徳」助け合う子
「体」たくましい子

<目指す学校像>
○児童一人一人を大切にする学校
○児童の主体性を伸ばせる学校
○わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる学校
○安全で安心して生活できる環境を整えた学校
○家庭や地域から信頼される学校

<目指す教師像>
○笑顔で温かく活力のある教師
○協働一致して、一枚岩となって指導に当たる教師（チーム神明）
○専門職業人として学び続ける教師

経営方針

- ①職員一人一人が公務員としての自覚を持ち、服務規律を正した行動を取る。また、常に職務遂行に必要な研修に励み、自らの専門性・人間性・社会性を高め、責任と誇りを持って働ける学校の実現に努める。（学校経営の充実）
- ②児童が自己存在感や有用感を感じられる個に応じた指導支援を大切にするとともに、伸ばしたい資質・能力を明確にした授業づくりをめざした授業改善に努める。（学力の向上）
- ③全教育活動を通して、道徳的実践力の向上を図るとともに、人権感覚を磨き、「思いやりの心」「命を大切にする心」等の育成に努める。（豊かな心の育成）
- ④体育の授業や体育的諸行事の充実を図り、運動の楽しさを味わわせる中で、体力の向上と健康づくり、安全意識の向上に努める。（体力の向上と健康安全教育の充実）
- ⑤地域の人的物的教育資源の活用を図るなど、家庭や地域との連携を深めるとともに、桜木幼稚園・桜木小学校・桜木中学校・南高校との一層の連携を図る。（ふるさと神明・郷土桐生を愛する子供の育成）

本年度の努力点

考える子	助け合う子	たくましい子
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の徹底と言語活動の充実（ドリル学習・家庭学習等） ○個に応じたきめ細かな指導の効果的な実施 ○考え、表現させる授業の実践・充実（教科担当制の実施） ○中学年の「外国語活動」、高学年の「外国語科」における指導力向上 ○家庭での学習習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通じて、「善悪の判断」「努力と強い意志」「思いやり」「生命の尊さ」の育成（道徳・学級活動の充実） ○道徳的な課題を自分自身の問題として捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」への質的転換（『道徳科』授業の構築） ○あいさつの励行と清掃の徹底（あいさつひろめ隊）（教師もともに清掃） 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業及び体育的行事の改善・充実（体育免許者の教科担当制） ○健康や安全は自分で守る意識、態度、能力の育成（保健委員会の衛生検査）（避難訓練）等 ○安心・安全な環境づくり（「危機管理マニュアル」の共通理解）（防災教育の強化）

○学校の教育力、組織力を向上させるために、校内研修を通して教師一人一人のスキルアップ
○地域の教育力の活用、郷土を理解し「桐生を好きな子供」を育てる事業の推進
○校区内の各関係団体との連携